



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2019年 1月 6日(日)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位

速報



AAF 戯曲賞

Aichi Arts Foundation Drama Award

受賞作品決定についてのお知らせ

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。
さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。
ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

約5時間半に渡る白熱した議論の末、大賞・特別賞が決定！

本日、1月6日(日)に開催しました「第18回AAF戯曲賞」の最終審査会において、大賞および特別賞が決定しました。

今回は、全国から109作品のご応募をいただき、現代の演劇界をリードする篠田千明(演出家、作家、イベント)、鳴海康平(「第七劇場」代表、演出家)、羊屋白玉(演出家、劇作家、俳優、「指輪ホテル」芸術監督)、三浦基(「地点」代表、演出家)、やなぎみわ(アーティスト)の5名が審査員として参加。選考にあたり、審査員が全作品を読み終えた後、一次、二次、最終審査と3回におよぶ審査を実施しました。

最終審査では、観客の前で熱い議論を繰り広げた末、大賞(1作品)に『朽ちた蔓延る』(山内晶)、特別賞(1作品)に『by us』(南山高校女子部演劇部 渡辺鈴)が選出されました。大賞受賞作品の『朽ちた蔓延る』は、2020年度に当劇場のプロデュース公演として、愛知県芸術劇場小ホールにて上演いたします。

AAF 戯曲賞とは…

2000年より開始した、上演を前提とした戯曲賞。当劇場主催のもと、戯曲の審査と受賞作品の上演を毎年行う。作家と演出家・作品と観客が出会い、価値観を創出。15年より「戯曲とは何か」という提題を設け、演劇の可能性に挑戦し続けている。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(山本)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

Mail: mkt@aaf.or.jp

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>



左から、鳴海康平、羊屋白玉、山内晶(大賞受賞者)、篠田千明、やなぎみわ、三浦基

大賞(1作品) | 『朽ちた蔓延る』山内晶 作品概要 (応募者原文)

架空の遺跡を、声と身体をつかって建築したいとかがえました。

現代を生きていると遠くのことがスイスイ指先で見えます。

しかし自分はどこにいても視線が移動しているだけ、一方向からしか見据えられないのだと、逆説的に感じる事が多くあります。自分の魂を揺さぶった小説がアマゾンの評価で「安っぽい表現で読む価値がない。がっかり」と書かれていました。ゴミ屋敷の持ち主が「懸賞を集めるのが生き甲斐、懸賞のために集めたビール缶と当てた懸賞品が増えていったんよ。……あ、これ、2年前のあれだ。懸賞！いいでしょう？」と言って、(私にはゴミに見える)ブリキの何かを差し出し、報道クルーが困っていました。広告業界では、会議でトレンドと判断した事象(少子化、LGBT など)をわざと嘲笑的に取り扱い、傷ついた人間に商品検索ないしはSNS発信させるという広告手法があるそうで。心を傷つけて生まれた金が、誰かを生かして幸せにしています。

その時に、私にとっての宝物も正義も、文化と指針のちがう人にはゴミなのだと体感しました。愚かな我々は、自分の宝物風のゴミを自分以外も宝物と思っていると勘違いしながら愚かに歴史を刻む、もしくは刻んで来たのかもしれない？4、5、6種類の正論風のイデオロギーがぶつかり合う瞬間は可視化されて、日常的に見るようになってきました。理解できないものが多様化するほど、世界ちょーひろいなと肌感覚が伝わってきます。

絶望はしませんでした。ロマンを感じました。

遠近軸だけでこんなにひろいなら、時間軸も一緒に考えるとひろいなんてものではない……この体感を文字に起こしたいと創作を始めました。

この種類のロマンを具現化するために注目したものが、「建造物の諸行無常」「長い目で見た文化の隆盛」「残留思念」です。建造物は、できて、栄えて、衰退して、死んで、遺跡になる。もたらず意味はどんどん変わりエピソードの蓄積だけが意味を継承されないで残る、と捉えてモチーフとすることを決めました。

次に文化の隆盛は。特殊な一説によると、日本は清流が多く着物を頻繁に洗える環境にいるため、大陸の民族衣装に比べて生地が薄いのだそうです。シルクロードの民衆衣装は洗わないで着続けても見苦しくならないように刺繍が多いとも言われています。そういった成り立ちの違いによる、現在につながる違いを知ると、悠久の日進月歩を感じました。モチーフとしています。

また逆に「1 人の異性と結婚して幸せ」と日本を覆う圧力は、江戸時代にはなかったそうで。明治維新か西洋文化の流入なのか、どのタイミングでこの習慣が現れたのかはまだ知りません。常識は恒久的なものでなく誰かに塗り替えられているのか！とモチーフとすることを決めました。そして残留思念は。たとえば受験前の定番観光地、学問の神様・菅原道真が祀られた北野天満宮は道真の怨霊が蔓延り天変地異が起こりまくり生きている人が怯えて、鎮魂のために建築されたそうで。建てられたときのニュアンスといま訪れる人のニュアンスがあまりに違った建築です。残留している望みや後悔があるとしたら、無視をされているけど道真は懲らしめない。

遺跡には、私の思う世界の幅広さと悠久のときが圧縮されているように感じました。

そして作品の中で何が言いたいかは、まだ一言ではまとめられていません。まとめられないから戯曲を書いているのかもしれませんが。けれども正論風の世迷言がはびこる現代で、言葉に傷ついてクヨクヨした人を、正義は手作りだ誰もお前を罰さない、とマッチョに全肯定したいという欲望があります。

以上のことを、韓流ドラマばかり見ている私の母親にも届くように、厭世的になりすぎないように、インドのバラナシ※の体感を目指して、形にしました。

※ガンジス川の、沐浴のメッカ。カオスが体感できるので評判。死体を火葬して流す、死体の貴金属を盗る人間が泳ぐ、排泄をする、神聖な場所として沐浴する、それらが同時。



山内晶 プロフィール

日本大学芸術学部演劇学科卒業

キリグス主宰(旧団体名 AnK)、歌舞伎女子大学メンバー、青年団演出部所属

キリグスと歌舞伎女子大学の両団体の全作品の脚本・演出担当

作品はロマンかロマンスかロマンチックがそこにある舞台芸術を作るべく、その時々感銘を受けた文化(伝承、浄瑠璃、クラブミュージック、漫画 etc...)を編み込み独特の世界を作り出す。

受賞歴: 2014 年度佐藤佐吉賞最優秀演出賞(作品名『ヘナレイデー』)

第 17 回 AAF 戯曲賞特別賞(作品名:『白痴をわらうか』)

特別賞(1作品) | 『by us』 南山高校女子部演劇部 渡辺鈴 作品概要 (応募者原文)

同じ女子校に通う仲よし六人組は毎週金曜日に塾の休憩室でたわいもない会話を繰り広げる、ごく普通の毎日を過ごしていた。

だがある日、その中の一人、薫がストーカー被害にあっていることを告白する。ストーカーが三人しかいない塾教師の中の誰かだということが分かった時、六人は三人の中でただ一人の男性教師を犯人と決めつけ追い詰めてしまう。しかし本当のストーカーは女性教師だったことが判明する。主人公の葵は自分の偏見の目を実感し激しく後悔する。

脚本の前半部分は、主人公の葵がストーカーは男性だと決めつけた自分自身の偏見を後悔し、「もしこのような世界だったら」と作り上げたジェンダー的な偏見の無い理想の世界。(前半部分では登場人物全員の性別が不詳)

独白は、理想の世界でストーカー問題を正しく解決するも、偏見は自分一人で無くせるものではないということに改めて気が付くという内容になっている。独白を挟んだ後半部分が、現実起こったこと。

実際の時系列的に言えば、後半部分→前半部分→独白

題名は

- ・私たちによる青春物語
- ・私たち全員が作り出す偏見
- ・bias(偏見)

というトリプルミーニングになっています。



南山高校女子部演劇部 渡辺鈴 プロフィール

第 70 回中部日本高等学校演劇大会地区大会、同県大会、同中部大会出場

第 71 回中部日本高等学校演劇大会地区大会、同県大会、同中部大会出場